

新春特集



堺市長 永藤 英機

あけましておめでとうございます。

大阪木材工場団地協同組合の皆様におかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

貴組合は昭和37年の設立以来、新入社員研修や工場見学会、集団健康診断、共同駐車場運営など様々な事業により組合員企業を支援され、美原区の地域経済に貢献いただいています。堀川理事長をはじめ歴代役員並びに組合員の皆様の弛まぬご努力に敬意を表します。

堺市では、市政運営の大方針である「堺市基本計画2025」において、都市像に「未来を創るイノベティブ都市」を掲げ、美原エリアを成長ゾーンに位置づけた上で企業進出や投資促進に向けた取組、幹線道路沿いの企業誘致等に力を注いでいます。

平成17年2月1日に堺市と美原町が合併し、本年2月には20周年を迎えます。この間、貴組合のご尽力や大型商業施設のオープン、堺都心部と美原を直通急行バスで結ぶ「SMI(堺・モビリティ・イノベーション)美原ライン」の実証実験などにより美原区域の都市機能は益々充実し、産業集積や人流・経済の活性化が進んでいます。

本年4月には、世界の注目が大阪に集まる「2025年大阪・関西万博」が開幕します。国内外から多くの方が来訪するこの好機を活かし、類いまれな歴史や文化、産業をはじめ堺の魅力を発信することで、都市ブランド力の向上や地域活性化、次の時代を担う子どもたちの可能性を伸ばす取組などに繋げたいと考えています。

貴組合には、今後も多くの企業・従業員の皆様が活躍される魅力ある工場団地として本市の産業振興の一翼を担われることを期待しています。そして「歴史」のまち堺から「未来」を創る本市の挑戦に一層のお力添えをいただけますと幸いです。

結びにあたり、大阪木材工場団地協同組合の益々のご盛栄と、本年が皆様にとりまして健康で幸多き一年となりますことを祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



大阪木材工場団地協同組合
理事長 堀川 昇

新年明けましておめでとうございます。

令和7年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また旧年中は、大阪木材工場団地協同組合の事業運営に対しまして、ご支援とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、元日に発生した能登半島での地震に続き、その翌日には羽田空港での航空機接触事故が起きるなど、大きな災害や悲惨な事故から始まった年となりました。その他にも、最大震度5弱以上の地震が幾度となく発生し、8月には「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表されるなど例年になく自然災害の脅威を実感した年であったと感じております。

多くの被災者の方々には心よりお見舞いを申し上げますとともに、本年はこういった災害や事故の発生が少しでも無くなればと念願するところでございます。

さて、私共の協同組合では、本年度の最重要課題として、昨年5月から「調整池の公共移管」実現に向けた再整備工事に着手しております。この調整池の取扱いにつきましては、木材団地の残された大きな課題でもあり、長年に亘り、歴代理事長及び担当委員会が中心となって鋭意検討と交渉を重ね、漸く課題解決に向けて堺市と合意書を締結することができました。本年5月末を予定している工事完了後、公共移管手続きを早期完了させることで、安心・安全な工場団地づくりにつながるものと考えています。

また本年は、堺市と美原町が合併後20年という節目を迎え、また「大阪・関西万博」が開催されるという記念すべき年となります。この地元大阪が世界に向けて日本の魅力を発信する場となり、より一層活気づくことを多に期待しております。

結びにあたり、本年が皆様にとりまして、健康で実り多き一年となりますよう、心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶